

製品名: CDK4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82683**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	33.7kda

抗原情報

遺伝子名	CDK4
別名	CMM3; PSK-J3
遺伝子 ID	1019.0
SwissProt ID	P11802
免疫原	大腸菌で発現したヒト CDK4 (AA: 77-303) の精製された組み換え断片。

背景

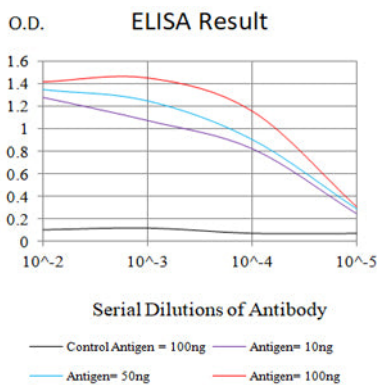
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーです。このタンパク質は、*S. cerevisiae* cdc28 および *S. pombe* cdc2 の遺伝子産物と高い類似性があります。これは、細胞周期 G1 期の進行に重要なタンパク質

キナーゼ複合体の触媒サブユニットです。このキナーゼの活性は G1-S 期に限定されており、これは調節サブユニットである D 型サイクリンおよび CDK 阻害剤 p16(INK4a)によって制御されています。このキナーゼは、網膜芽細胞腫遺伝子産物 (Rb) のリン酸化に関与することが示されました。この遺伝子、および D 型サイクリン、p16(INK4a)、Rb などの関連タンパク質の変異は、様々な癌の腫瘍形成に関連することが分かっています。この遺伝子には複数のポリアデニル化部位が報告されています。

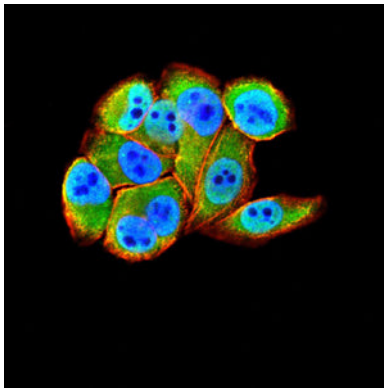
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

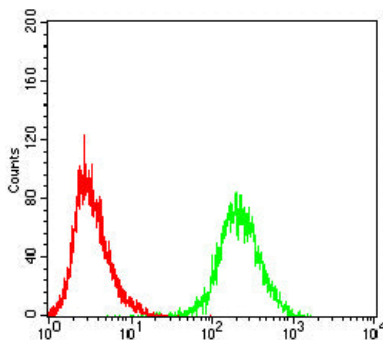
画像データ



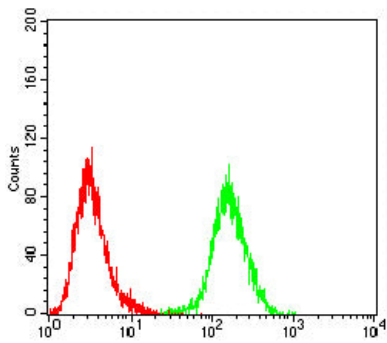
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



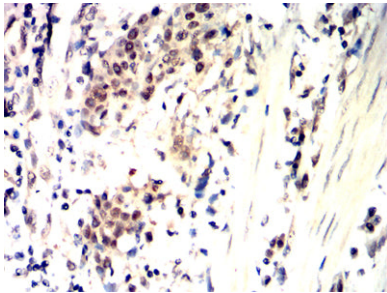
CDK4 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



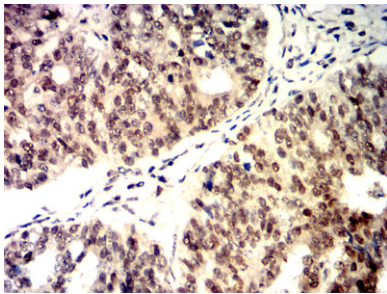
CDK4 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した K562 細胞のフローサイトメトリー分析。



CDK4 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した U937 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による CDK4 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による CDK4 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。